

## 第2章 本県水産業の現状と課題

### 1 水産業の概要

#### (1) 水産業をめぐる諸条件

本県は、関東の北部に位置し、茨城県や群馬県など4県に囲まれた内陸県で、東西約84km、南北約98km、面積は6,408km<sup>2</sup>で、関東地方では最も広い県土を有する。北部及び西部は日光国立公園に属する山岳地帯、東部は茨城県及び福島県との県境地域の八溝山地、中央部は関東平野北部の広大な平野地帯で、利根川水系、那珂川水系及び久慈川水系の298の一級河川が流れ、その総延長は2,697kmである。また、自然湖である中禅寺湖や川俣湖などの人工湖が多く散在し、内水面漁業にとって恵まれた環境となっている。加えて、国内最大の人口を抱える東京圏からのアクセスが良好であり、水産業を交流人口の拡大に活用する上で非常に有利な条件を備えている。

#### (2) 水産業の特徴

##### ● 河川湖沼漁業

本県の河川湖沼には26件の第5種共同漁業権が免許され、アユやマス類、ウグイやオイカワなどが採捕されている。令和6(2024)年の漁獲量<sup>※1</sup>はアユ176t<sup>※2</sup>(全国第4位)であり、漁獲量の98%をアユが占めている。

本県の河川湖沼漁業は、釣りを主体とした遊漁が中心となっている。また、令和6(2024)年には、推計20.9万人<sup>※3</sup>が県内に多数存在する「観光やな」を利用しており、地域の観光資源として交流人口の創出に寄与している。



鬼怒川で漁獲されたアユ



鬼怒川でのアユ釣り



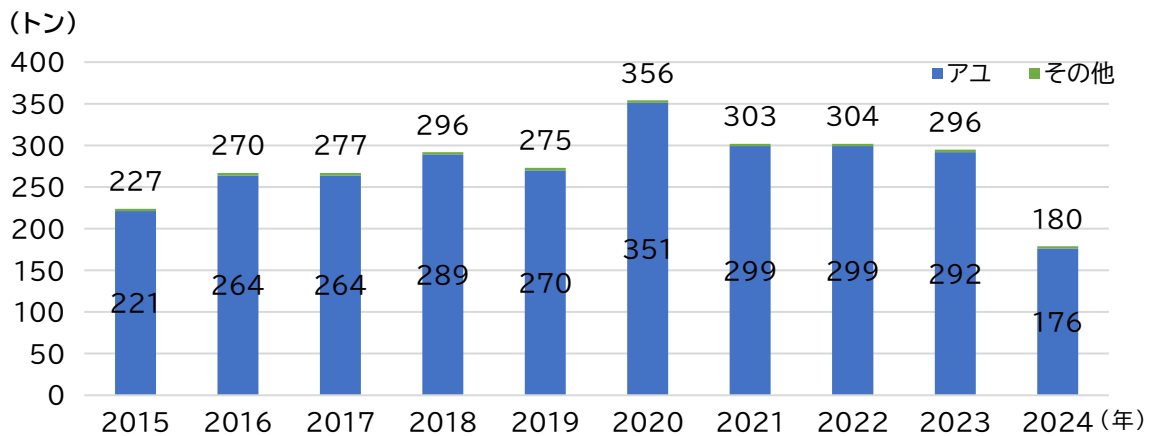
那珂川の観光やな

※1 販売を目的とする採捕量をいう。なお、遊漁で採捕される水産物の大半は自家消費されているが、漁獲量には含まれない。

※2 令和6(2024)年農林水産省 漁業・養殖業生産統計

※3 R6 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査

図 2-1-1 県内河川漁獲量の推移

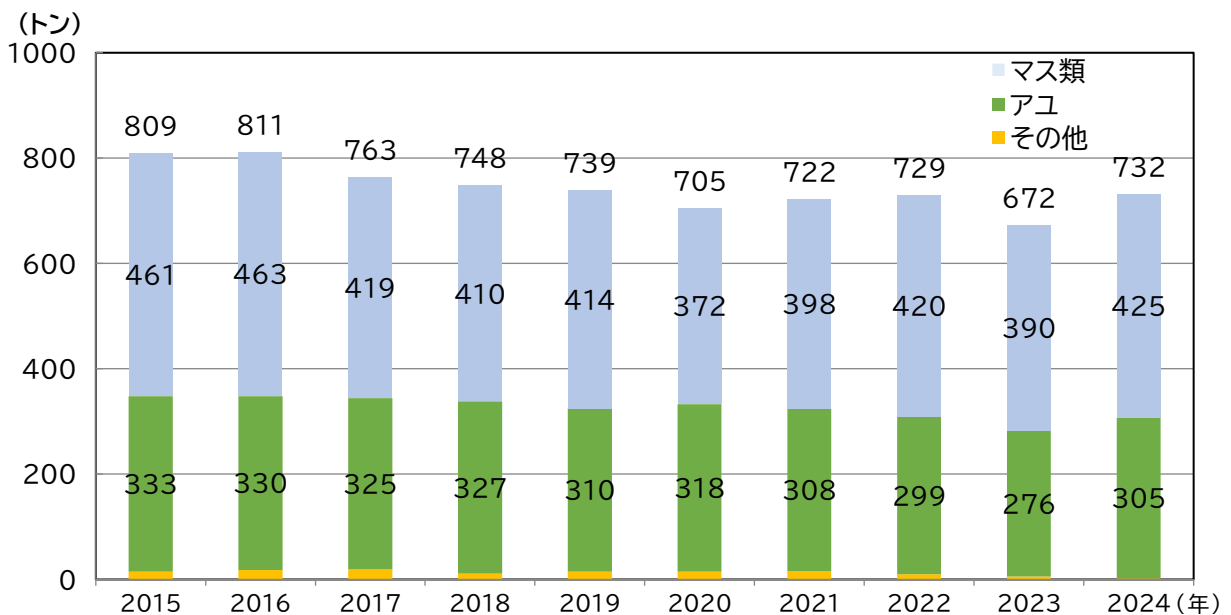


出典 H27(2015)～R6(2024)年農林水産省 漁業・養殖業生産統計

● 養殖漁業

本県の養殖業では、主にアユやマス類が生産され、令和6(2024)年の生産量はアユ 305 t<sup>\*1</sup>(全国第4位)、ニジマス 283 t<sup>\*1</sup>(全国第5位)と全国上位に位置している。また、地域特産魚である「ヤシオマス」の令和6(2024)年の生産量は117 t<sup>\*2</sup>となっている。

図 2-1-2 県内養殖漁業の生産量



出典 H27(2015)～R6(2024)年農林水産省 漁業・養殖業生産統計

※1 令和6(2024)年農林水産省 漁業・養殖業生産統計

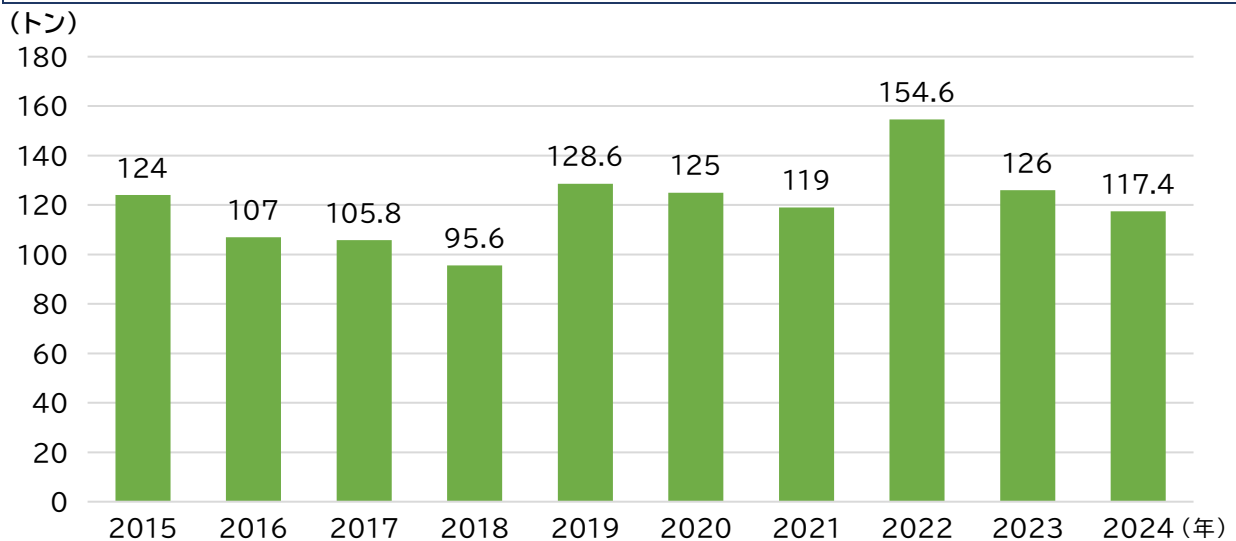
※2 県農村振興課調べ

表 2-1-3 主要魚種別養殖生産量

魚種・項目		上位生産県				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
アユ	全国	岐阜県	愛知県	和歌山県	栃木県	滋賀県
生産量(トン)	3,487	885	844	605	305	216
全国シェア(%)	—	25.4	24.2	17.4	8.7	6.2
ニジマス	全国	静岡県	山梨県	長野県	鳥取県	栃木県
生産量(トン)	5,202	1,253	676	553	401	283
全国シェア(%)	—	24.1	13.0	10.6	7.7	5.4

出典 R6(2024)年農林水産省 漁業・養殖業生産統計年報

図 2-1-3 ヤシオマス生産量の推移



出典 H27(2015)~R6(2024)年 県農村振興課調べ